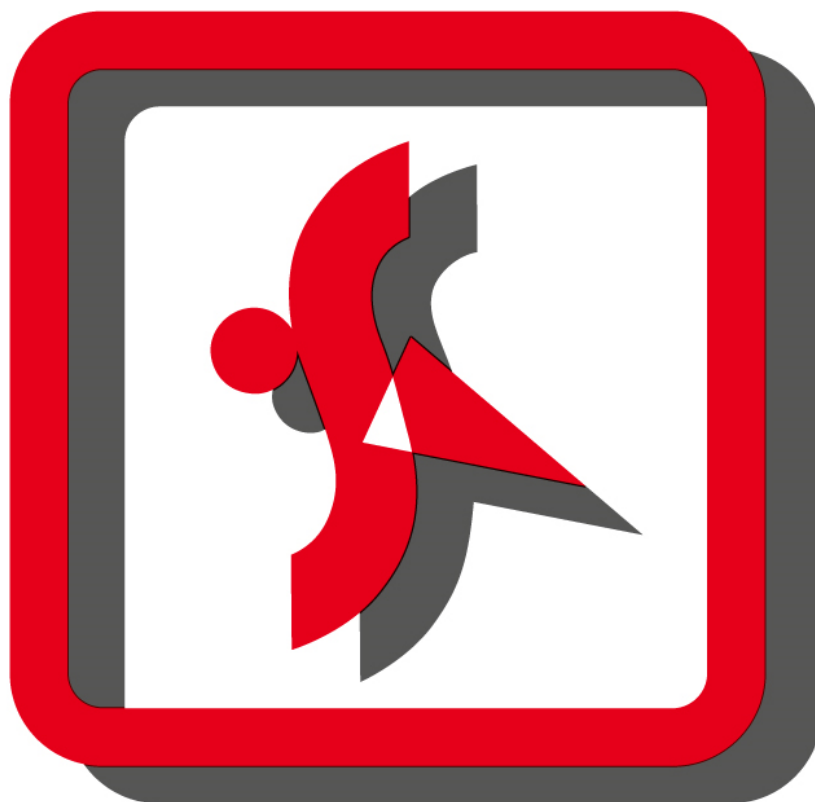


第4回 WING12.6 ワンデザイン全日本選手権大会

大会レポート

2018年11月10日～11日



スポーツ振興基金

独立行政法人日本スポーツ振興センター

は じ め に

本大会は、多くの SUP の大会の中で珍しく、ワンデザイン(同一ボード)ということを主軸にしております。参加者全員フラットな条件で競技し、純粋なパドリング力やマーク回航などで優劣を競うことを目的としております。

今年度は、開催地を江ノ島から大阪へと変更しました。

これは、関西開催の大型レースが少ない点を考慮したものです。

本大会は、11月10日に wing12.6 を使ったショートスプリントレースを行い、翌11日に約6キロのロングレースを開催しました。

ロングコースでは、途中で足が攣ってしまい、リタイアする選手がいましたが、レスキュー艇で無事回収し、事故なく終わっています。両日ともに、3-4mの風が吹いており、少し負荷がかかる全日本としては、ちょうどいいコンディションでした。

レポ ー ト

天候に恵まれ、絶好のコンディションの中、大会を開催しました。大阪湾での開催の為、各選手は風と川の流れに負けないよう必死にパドリングをしていました。2日目は、暑い上に、6キロという長距離のレースだった為、1名残念ながらリタイアしてしまいましたが、事故なく大会を終えることができました。



初日のショーツプリントは、短くたくさんコーナーがあるコースを走るテクニカルなレースです。素早くたくさん漕ぐことが必要なため、ゴールするとヘトヘトになります。



2日目のロングコースは、一定間隔でリズムよく漕ぐことが大事です。6キロという長距離なので、配分を間違えてしまうと体力がなくなってしまいます。各選手は、自分の体と相談し、限界ギリギリのペースでレースを行ってりました。先にゴールした選手は、ゴール付近で待っており、後にゴールした選手を拍手でたたえるシーンがとても印象的でした。



表彰式の写真です。

各クラスの上位には、副賞が授与されました。

皆様おめでとうございます！



大阪で初めての大会でしたが、無事に終了したことをうれしく思っております。関西地方に直撃した台風の関係で、日程の変更や開催地である大阪北港マリーナへの被害等あり、エントリー数に影響もありましたが、来年度以降も同場所で開催しようと思っております。さらに発展ができるよう工夫したいと思います。